

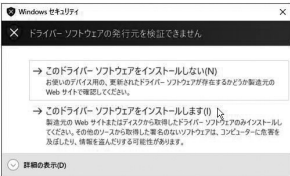
スタートアップガイド

Windows10・11搭載パソコンへのG-Trace.net3のインストール手順

G-MEN GR100d/GL100d

G-Trace.net3のインストールは、必ず本書の手順に従って行なってください。本書以外の手順では正常にインストールできない場合があります。

- 注意1.全てのWindows10・11搭載のパソコンの動作は保証できません。
- 注意2.ネットワーク接続されセキュリティ管理されたパソコンへはインストール出来ない場合があります。社内ネットワーク管理者にご相談ください。
- 注意3.Windows10・11はセキュリティが厳しく下記の「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」の警告が表示される場合があります。「このドライバーソフトウェアをインストールします」を選択できない場合はG-Trace.net3 はご使用になれません。



2025.07

アプリケーションをインストールする

※注意!インストールは、必ず本機とパソコンを接続する前に行ってください。

1 CD-ROMドライブに「G-Trace.net3」を入れる

2 インストールメニューの実行



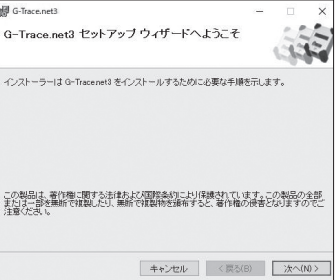
G-Trace.net3 Install Application の画面が表示されたら「インストール」を選択します。

3 G-Trace.net3 のインストール



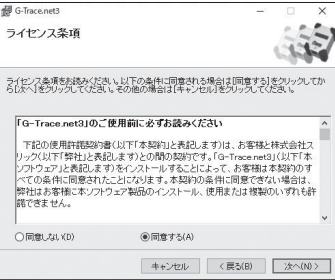
しばらく時間がかかります。

4 「G-Trace.net3」セットアップウィザード



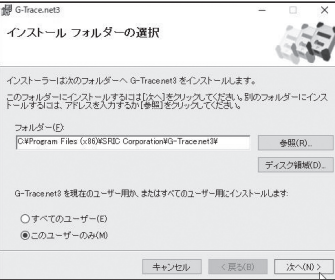
「次へ (N)」を選択します。

5 ライセンス条項



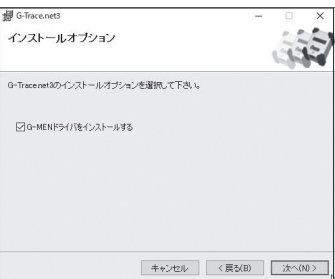
ライセンス条項の内容を確認し、同意いただける場合には「同意する」を選択し、「次へ (N)」を選択します。

6 インストール先のフォルダを選択



G-Trace.net3 をインストールするフォルダを選択します。
G-Trace.net3 を使用するユーザーを選択します。
「次へ (N)」を選択します。

7 インストールオプション

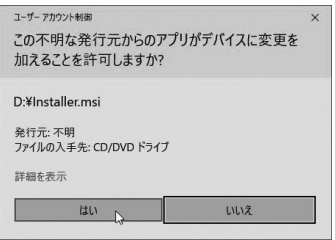


「次へ (N)」を選択します。

8 インストールの確認

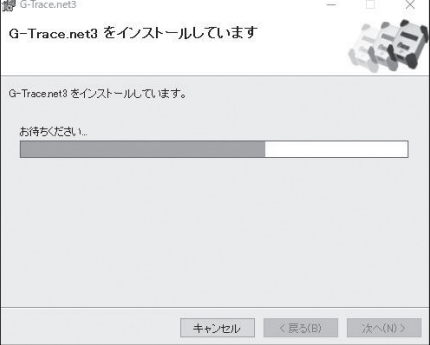


「次へ (N)」を選択します。



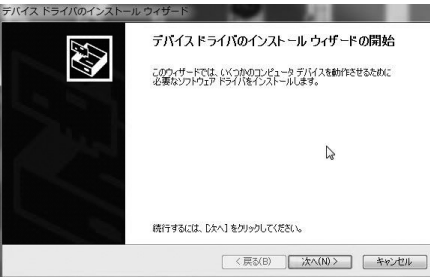
「ユーザーアカウント制御」が表示されます「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」
D:\Installer.msi
発行元: 不明
ファイルの入手先: CD/DVD ドライブ
詳細を表示
はい いいえ

9 「G-Trace.net3」をインストール



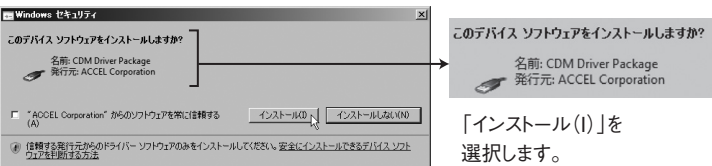
「G-Trace.net3」をインストールしています。

10 デバイスドライバーのインストールウィザードの開始



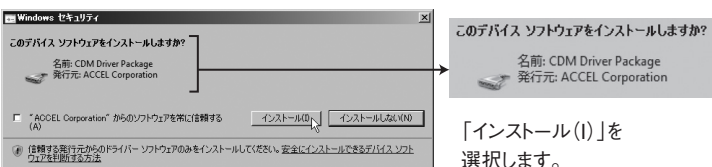
「次へ (N)」を選択します。

11 デバイスドライバーのインストールウィザード



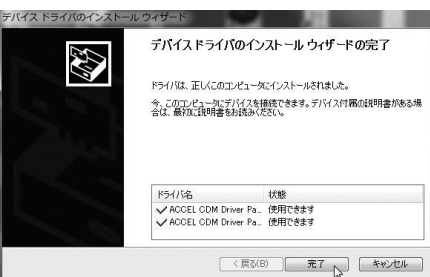
「インストール (I)」を選択します。

12 デバイスドライバーのインストールウィザード



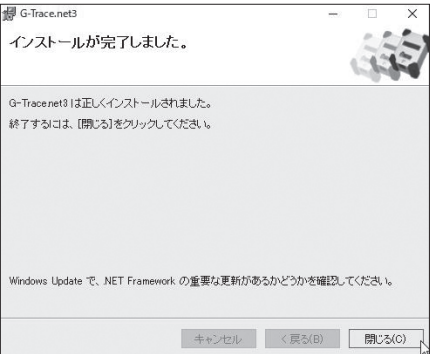
「インストール (I)」を選択します。

13 デバイスドライバーのインストールウィザードの完了



「完了」を選択します。

14 インストールの完了



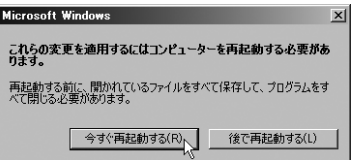
「閉じる」を選択します。

15 インストール画面を閉じる



画面右上の「×」を選択します。

16 コンピューターの再起動



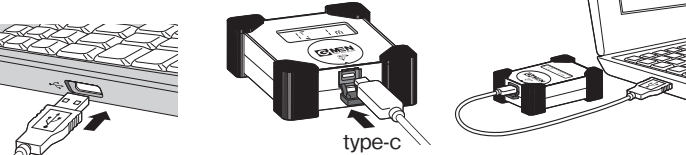
「今すぐ再起動する (R)」を選択します。

17 ショートカットアイコンの確認



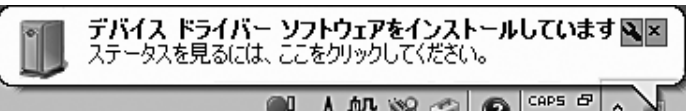
デスクトップ画面上に「G-Trace.net3」のショートカットアイコンが自動的に作成されます。

18 パソコンと本体を接続します。 ※USB2.0 を推奨

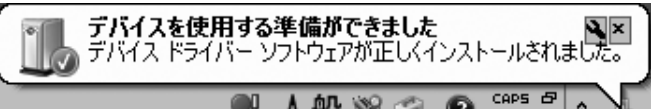


本体のUSBコネクタとパソコンのUSBポートを付属のUSBケーブルで接続します。

19 デバイスドライバーの自動インストール



デスクトップ画面右下にポップアップが表示されます。



正しくインストールされてから使用できます。

注 意!

- ※デバイスドライバーソフトウェアのインストールは「USB Serial Port (COM※)」と「USB Serial Converter」がインストールされます。
- ※デバイスドライバーソフトウェアのインストールはパソコンの機種に依っては時間がかりります。
- ※インストール途中での中止やUSB ケーブルを抜く行為は、デバイスドライバーが正しくインストールされない為、G-MEN との接続が正常に行えません。

はじめてつかうG-Trace.net3

G-Trace.net3

(G-MEN GR100d/GL100d)

第1章 G-Trace.net3 とG-MEN

- 1 起動と接続
- 2 複数のG-MEN との接続

第2章 G-MENで振動を計測してみよう

- 1 G-MENに計測条件を設定する
- 2 G-MENの計測を開始する
- 3 G-MENに振動を加える
- 4 G-MEN記録データを取得する
- 5 G-MEN取得データを保存する
- 6 マグネットスタートは

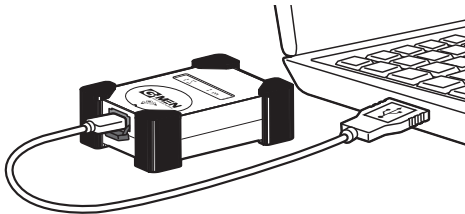
G-Trace.net3 のユーザーズマニュアルは、アプリケーション上のヘルプをご利用いただくようお願いいたします。

ここでは簡単にG-MENの計測をG-Trace.net3からどのように設定するか記載しております。

第1章 G-Trace.net3とG-MEN

1 起動と接続

G-Trace.net3の起動とG-MEN との接続



G-MENとの接続は、G-Trace.net3の起動後でも起動前でもどちらでも構いません。

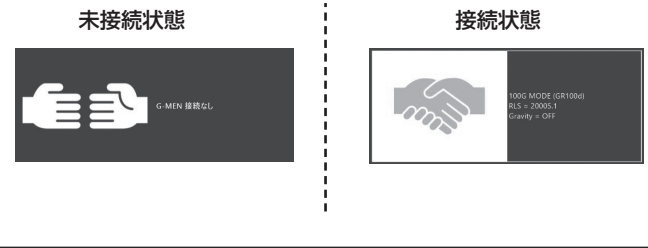
スタートメニューからG-Trace.net3を選択、またはデスクトップ上のショートカットアイコンのクリックにより、G-Trace.net3を起動します。



(スタートメニュー画面)

G-MEN を接続するとG-Trace.net3は現在のG-MEN 接続状態を、スタートメニュー/データ表示画面のどちらにおいても、接続の有無を表示しています。

スタートメニュー画面



未接続状態のステータスバー



接続状態のステータスバー



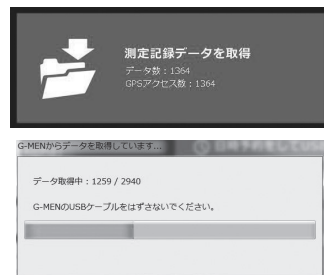
スタートメニュー画面のステータスバーにも同様に表示され機種と接続状態、本体RLS番号が表示されます。
G-MEN本体の液晶には【CoMPLETE】と表示されます。
G-MENとパソコンの接続確認が出来ない場合
G-MEN本体とUSBケーブルを再度抜き差しする。それでも確認が出来ない場合は、USBドライバのインストールが失敗している可能性があります。

2 複数のG-MENとの接続

G-Trace.net3は複数のG-MENと同時に接続はできません。複数のUSBポートを持つパソコンにG-MENを複数接続しても1台のパソコンに対し1台のG-MENの認識になります。

4 G-MENの記録データを取得する

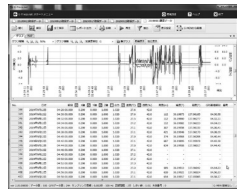
G-MENとパソコンを再度USBケーブルで接続してください。
G-Trace.net3の画面上でG-MENが接続されていることを確認してください。本体液晶には【CoMPLETE】と表示されます。
G-MEN本体に記録されたデータを取得するためにはG-Trace.net3のスタートメニュー画面の【測定記録データ取得】をクリックします。
取得中は以下のように画面中央にインジケータが出ています。



データの読み取りが終了するとデータ表示画面にデータリストとグラフが表示されます。

ステータスバーには今読み取りをしたG-MENの情報が表示されています。
(データ数・サンプリング周期・応答周波数・記録間隔・しきい値・本体番号)
データリストの日付はスタートした日・記録間隔に準じて表示されていますので確認してください。データ内容は日付・時刻・XYZの3軸・温度・湿度となります。加速度の初期単位はG値です。加速度単位は【G・m/sec²・GAL】任意に選択できます。

*日付は設定したパソコンの時計を確認しますので、パソコンの時計(日時)が間違っていればG-MENの取得された日付データも間違ったものになります。



第2章 G-MEN で振動を計測してみよう

簡単な計測をしてみましょう。
第1章でG-Trace.net3とG-MENの接続確認はとれましたか。

計測のながれ

- 1 G-MENに計測条件を設定する。
- 2 G-MENの計測を開始する。
- 3 G-MENに振動を加える。
- 4 G-MENの記録データを取得する。
- 5 G-MENの取得データを保存する。



1 G-MENに計測条件を設定する。

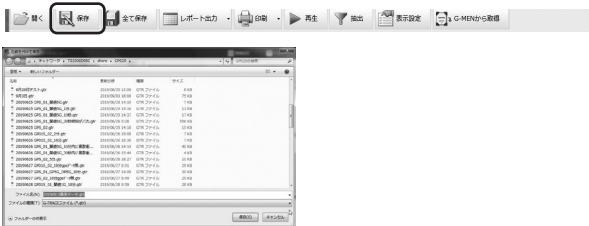
ここでは出荷時の設定を利用します。
G-MENを付属USBケーブルでパソコンと接続します。
G-MENがパソコンで認識されると G-MEN接続完了と表示されます。

画面左下の【G-MENの設定を変更】をクリックします。

G-MENの設定を変更

5 G-MENの取得データを保存する

メニューより保存を選択します。



測定データ保存ダイアログが表示されます。ファイル名は、自動生成で日付数値がファイル名になりますが、任意で変更ができます。ファイルの保存形式は【*.gtr】になりG-MEN専用の形式となります。
これで簡単な計測を終わります。

6 マグネットスタートは



開始オプション1.2を選択した時
・付属のマグネットにて開始操作をします。
G-MEN側面に付属マグネットを当てます。G-MEN内部に磁気センサがあり、磁気センサが反応するまで数秒かかることがあります。
反応するとG-MENの液晶表示がWAITMAGからサンプリング周期 記録間隔等の表示に変わります。

クリックすると下記画面が表示されます。この画面ではG-MENの計測条件を任意に設定できます。
ここでは出荷時のG-MEN内部に記録されている設定を利用します。
画面左下の【G-MEN本体から受信】をクリックしてください。クリックすると下面の計測条件の項目が表示されます。

本体番号 【1】
サンプリング周期 【0.001秒】
応答周波数 【100Hz】
記録間隔 【1秒】
ハザード 【0.0】
しきい値 【0.0】
しきい値超検出 【OFF】
開始オプション 【5】
液晶表示オプション 【00】



上記の設定ではG-MENの測定開始を実行すると、開始オプション5でUSBケーブルを抜いてから、5秒後から始動し1秒で1データを記録します。内容は記録間隔1秒間の中で0.001秒ごとサンプリング計測してそのデータの中でXYZ軸のそれぞれのピークG値を記録し温度・湿度も記録します。

条件を変更するには各項目の一覧ボタンまたは各項目の▲▼で数値を指定します。条件設定が終わりましたら画面右下の【OK】をクリックしてスタートメニュー画面に戻ります。スタートメニュー画面で設定した計測条件が反映されているか確認してください。左半面に設定した数値が表示されています。

計測条件の画面では計測したい内容により色々な設定の組み合わせができます。詳しくはヘルプをご参照ください。

2 G-MENの計測を開始する

スタートメニュー画面より即時測定と予約測定が選択できます。

- 即時測定の場合、スタートメニューの右図【即時測定】をクリックします。(計測条件は入力済みですか?)



USBケーブルを外すとG-MENは開始オプションで指定した5秒後から測定を始めます。
G-MEN本体の液晶ではUSBケーブルを抜くと【WAIT 05】からカウントダウンして記録間隔・サンプリング周期・温度・湿度を【26.3c 45rh】で交互に表示します。

- 予約測定の場合スタートメニューの下図【予約測定】をクリックします。



計測したい日時を入力します。



入力後【OK】をクリックします。



3 G-MENに振動を加える

G-MENを左右に振ったり軽く机にコンコンとたたいたりしてください。
静止状態でも構いません。